

茨城県中小企業団体中央会事務局 第2次中期運営計画(2026～2028年度)の概要

(本計画の位置づけ) 会員と中央会の信頼関係を再構築するため、会員に向けたマニフェストとして、今後、中央会が取り組む施策を定めるとともに、具体的な事業の内容と進め方を明らかにする。

(現状と課題) 会員の課題とニーズ・支援内容は高度化・複雑化している一方で、中央会は事務局の弱体化により、業務の達成状況は十分でなく、かつ、これらの問題が顕在化してから相当の時間が経過しており、危機的な状況にある。
このようなことから、事業への取り組み方と会員サービスのあり方を見直し、主要施策を設定し、推進していく。

(将来像) **中小企業ネットワークコーディネーター ー会員から頼りにされる中央会となることを目指すー**

- ◆中小企業と中小企業、組合と組合、中小企業・組合と専門機関・行政機関など、それぞれを繋ぎ・結び・紡ぐ役割と、結果が出る(見えるようになる)まで真に寄り添った支援を行う役割を果たしていく。
- ◆会員の持続的な発展のため、事業運営の自立化・自走化に向けた支援に努める。

(基本的な考え)

- 事業等の選択と集中
- 会員の課題やニーズにそった施策の推進
- 中央会として必要とする施策への取り組み(会員の理解と協力)

- 巡回訪問の強化
- 会員ごとの現状・課題の把握と課題解決策の提案・実施
 - ・会員カルテ、課題解決計画の作成
 - ・職員間での共有、どの職員が担当しても一定水準以上のサービスを提供

事務局の立て直し、外部支援機関との連携・協力

主要施策	目標内容	目標値
I .1年に1回以上すべての会員を訪問する。	◆会員巡回訪問実施率	100%(R8～10年度(各年))
(同上)	◆賛助会員巡回訪問実施率	100%(R8～10年度(各年))
(同上)	◆会員カルテ及び課題解決計画作成	100%(R8年度中に作成)
II 新たな取り組みを行う組合等を3年間で100以上創出する。	◆新たな取り組みを行う組合等の支援件数	100件(R8～10年度合計)
III 新たな連携組織を3年間で25件以上組成し、会員化する。	◆新たな連携組織化の件数	25件(R8～10年度合計)
IV 会員サービスに関する満足度を100%とする。	◆エキスパート派遣事業実施回数	R8年度:30回 R9年度:35回 R10年度:45回
(同上)	◆組合等機能強化支援事業実施回数	R8年度:3件 R9年度:5件 R10年度:6件
(同上)	◆中央会ニュース(茨城新聞)掲載対象数	R8年度:50組合等 R9年度:70組合等 R10年度:100組合等
(同上)	◆情報発信時期	会員に必要な情報を取得してから 1営業日以内に発信する。
◎ 主要施策 I ～IVを推進するための中央会事務局体制づくり	○財務体質の強化 ○職員が働きやすい環境づくり ○職員へのサポートの強化	